

第10回国際バイオEXPO バイオアカデミックフォーラム出展報告

6月29日から7月1日の3日間、東京ビッグサイトで開催された「国際バイオEXPO バイオアカデミックフォーラム」に出展しました。例年CBRC単独でパビリオンを設けていましたが、今年は産総研として出展。産総研イノベーション推進本部からも多数のコーディネータが駆け付け、参加者の技術相談に応じ、好評を得ました。

CBRCからの発表者

「システム生物学的アプローチによる合目的の数理解析法の開発と適用」

堀本 勝久 生体ネットワークチーム長

「生命情報工学研究センターとバイオインフォマティクスの人材養成」

浅井 潔 生命情報工学研究センター長／

生命情報科学人材養成コンソーシアム会長

「タンパク質立体構造情報に基づくインシリコ分子標的創薬」

広川 貴次 創薬分子設計チーム長



口頭発表を行う広川研究チーム長

CBRC以外の発表者

「ヒト遺伝子統合データベースH-InvDBを用いた発見的データマイニング」

今西 規 バイオメディシナル情報研究センター／

分子システム情報統合チーム長

「固相トランスフェクション技術が拓く細胞研究」

三宅 正人 イノベーション推進本部 連携主幹

ジェラルド・リポウスキー バイオメディシナル情報研究センター

細胞システム制御解析チーム



人材養成コンソーシアムのポスター発表。
eラーニングのデモも行った

ISMB/ECCB2011

7月17日～19日にウィーン（オーストリア）にて開催されたISMB/ECCB2011（19th Annual International Conference on Intelligent Systems for Molecular Biology and 10th European Conference on Computational Biology）でブース展示および、3件の口頭発表と5件のポスター発表を行いました。

口頭発表

“SlideSort: Fast and exact algorithm for Next Generation Sequencing data analysis”

清水 佳奈、津田 宏治

“Next-generation genome alignment with LAST”

ポール・ホートン、マーティン・フリス、レイモンド・ワン（東京大）、

佐藤 健吾（東京大）、シモン・キエルバーサ（マックスプランク研究所）